

住居選択時のチェックリスト

1 住居選択前

- (1) 当国の治安などに関するブリーフィングを十分受けたか。
- (2) 警備会社（ガードマン）の信頼性を把握したか。
- (3) 住居の選択に際し、ほかの日本人の助言を得たか。
- (4) 当国の危険分析を的確に行ったか。
- (5) 市街地図（主に道路）を入手し、図上研究を行ったか。
- (6) 信頼できる住宅業者がいるか。

2 ルートの安全確保

- (1) 自宅から、目的地まで2つ以上の安全なルートが取れるか。
- (2) ルートの道幅は、比較的広くかつ安全か。
- (3) 決まった目的地まで行くのに、危険地域を通らなくても済むか。
- (4) 学校やスーパーなどほぼ毎日出かける場所までの安全は十分か。

3 地域の安全確保

- (1) 住居周辺の治安情勢を確認したか。
- (2) セトルメントや問題地域に隣接していないか。
- (3) 住居の周辺に賊が潜めるような場所はないか。
- (4) 住居が監視される場所が近くにないか。
- (5) 不審者や不審車両に対する警戒が容易か。

4 住居の安全確保

- (1) 独立家屋を取り巻く四方のうち三方は、他の住居に囲まれているか。
- (2) 隣の住居の住人等について調査したか。
- (3) 住居への出入り（特に車両）は安全かつ迅速に行える構造か。
- (4) 住居の安全対策は、周辺の住居の安全対策（外観）に比べて同等以上か。
- (5) 家主は住居の安全対策強化に積極的か。